

イヴオナ・コルディンスカ・ナヴロツカ

講演
Lecture

ポーランド語による初の『源氏物語』全巻訳について

『源氏物語』は日本文学史上の傑作のひとつであるのみならず、世界文学においても偉大な作品でもある。その作者・紫式部は、深遠な人間存在を心理性豊かに描きあげた小説芸術の先駆者とみなされている。彼女の作品は、和歌に裏づけられた個の抒情と物語的な散文叙述を巧みに融合し、19世紀ロマン主義時代のヨーロッパの詩的散文作品の登場よりも遙か以前に成立したものとして注目される。プロット構成の斬新さ、当時の宮廷文化の描写力の豊かさ、登場人物の心理描写の繊細さなど、その独創的な美質に多くの関心が寄せられて来た。本講演では、ポーランド政府の国家プロジェクト“National Programme for the Development of Humanities”に採択された、『源氏物語』のポーランド語による翻訳作業を通じて得られた知見を交え、あらためて『源氏物語』の魅力について報告したい。

講演者略歴●ポーランド国ワルシャワ大学東洋学部日本文学教授dr hab(文学博士)・学科長。信州大学で修士学位も取得。『源氏物語』をはじめとする日本古典文学の研究・翻訳等のほか、現代日本の文化、風習、食文化等にも造詣が深い。現在『源氏物語』のポーランド語訳(初の全巻翻訳・5ヵ年計画)に携わっている。主要著書: Japońska miłość dworska (日本王朝恋愛, 2001), Klasyczny język japoński (日本古典文法, 2022), Kultura kulinarna Japonii (日本食文化, 2018)など。

2024.7.13

受付開始 13:30～
講演 14:00～16:00
[SAT]

青山キャンパス17号館406教室

青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

対面+オンラインのハイブリッド開催
参加無料・一般来場歓迎!

参加申込URL
<https://forms.gle/vYjDfw9sZzLVhNTE6>

お問い合わせ/青山学院大学日本文学科●TEL(03)3409-7917 メール jpn@cl.aoyama.ac.jp
最寄駅/JR山手線・東急線・京王井の頭線●「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩10分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線●「表参道駅」B1出口より徒歩5分